Vol. 11

2021. June



PICK UP

- 1 少しずつ成長し、5年目のいま
- 2 管理者さんの思い出ぽろぽろ

HELLO! NEW STAFF 鯉谷さんのひとりごと

ずつ成 ま



日々いろいろなことが起こり、悩みが尽きない介護の仕事。それでも一 生懸命向き合い、経験を経てきた若手の介護士さんにお話を聞きました。

「人見知りで、初めは職員さんや入居者さん とコミュニケーションを取ることも大変でした」 と、介護士の北村さん。高校の時に実習で 来て、仕事を覚えるだけで精一杯。それでも 先輩方が優しく1つ1つ教えてくれたことや朗 らかな雰囲気に惹かれ、「入職したい」と思っ たそうです。5年の月日が経ち、今では入居 者さんに冗談を言ったり、職員さんと何でも 話せる間柄に。「今は後輩に仕事を教える係 も担当しています。どうすれば伝わりやすいか 悩んだりしますが、後輩がひとりでできるよう になっていく姿を見ると嬉しくなります」(北村 さん)。一方、北村さんと同期の介護士・ 若林さんは「高校時代は部活で忙しくアルバ イトはしていなかったので、入職した頃は働く ということ・新しい環境になれることに必死で、 同時に入居者さんの情報や業務内容を覚え ることに苦戦して。でも先輩方がいつもフォ

造計画案が進行中の娯楽室

ローしてくださるので、安心して働くことがで きました」。そんな若林さんが始業後にまず行 なうのが、入居者さんに挨拶してまわること。 「今日は天気が良いですね、昨日の夜はよく 眠れましたか? など他愛のない会話をしていく うちに私のことを覚えてくださるので嬉しい。 余裕がある時は別のフロアの入居者さんにも 会いに行くようにしています」(若林さん)。 難しい介護の世界ですが、真摯に懸命に、 仕事に向き合うふたりの姿が見られました。



寿幸苑 施設長 永山さん

北村さんは心配なほど人見知りで したが、今ではずいぶん頼もしい 存在に。若林さんが昔から続けて いる入居者さんへの挨拶回りは、 素敵で大好きなエピソードです。ふ たりの成長は努力の証と感じます。

社会福祉法人 浪速松楓会

お話をきいた人/特別養護老人ホーム 寿幸苑の職員さん 施設の住所/大阪市生野区林寺 4-13-14



るるる日誌 - 日々のできごと -



北村CW、若林CW達が娯楽室の改造を 計画中。「休憩時間の癒やしの場になれば …と考えています | (北村CW)。レイアウト や置く物、いろいろアイデアが出ています。



娯楽室近くには、北村CWの働きでカプセ ル式コーヒーメーカーを設置。コーヒーや紅 茶、種類が多数あって大好評。商品の補 充やお手入れも取り組んでくれています。



フレンドリーな性格で入居者さんにも職員 さんにも明るく話しかける若林CW。その人 柄から交友関係は広く、相談相手になるこ とも。後輩の教育係としても活躍してます。

、かけしながらケアにあたる若林さん

管理者さんの思い出ぽろぽろ

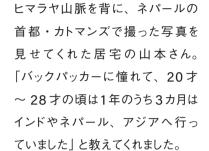
いつも頼れる、経験豊富な管理者さんたち。 「若い頃はどんな感じやったんやろ?」 興味をひかれ、10代~20代の時のことを伺いました。

聞いた人: GHサボテンの花、居宅、 ヘルパーステーション、本部、ライフェル駒川、寿幸苑の職員さん

サボテンの花の水原さんが見せてくれたのは、教室の外の廊下にて皆で撮った写真。「高校で仲良くなった友人と卒業式の日に撮りました。高校時代の友人とは今も交流があり、親としての苦悩を共有しています」と話してくれました。



卒業式の日の 水原さん(写真中央)





25才の頃、ネパールに 行った際の山本さん



【 答えてくれた人 】 -----

グループホーム サボテンの花で管理者を務める水原 丈裕さん。職場ではテキパキ仕事をこなす一方、私生活は「子どもとの時間を最優先する」という家族思いのお父さんです。



【 答えてくれた人 】 -----

居宅介護支援事業所でケアマネジャーを務める山本知子さん。洋楽が好きで、最近かっこいい!とハマっているのは、ハリー・スタイルズ。「何才になってもイケメン大好きです(笑)」。



修学旅行時の葭原さん (最後列の左から2人目)

訪問の葭原さんが見せてくれたのは、高校2年生の時に修学旅行で行った長野県での集合写真。「旅行の目的がスキーではなく、『稲刈り』。みんな残念に思っていたけど、行ってみると案外おもしろくて。楽しかった思い出です」。



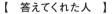
【 答えてくれた人 】 -

ヘルパーステーションの管理者を務める**葭原** 充子さん。臆病で人見知りな愛犬・小梅ちゃんも、家族歴9年目の最近では 撫でると「もっと」とおなかを見せて甘えてくれるそうです。



高校2年生の鯉谷さん (2列目中央)

修学旅行先の沖縄で撮った写真を見せてくれた本部の鯉谷さん。「中学・高校はサッカー部に所属し、家族よりも長い時間この写真に写っている友達と過ごしていました。アホなことばかりして、いろんな人にたくさん怒られていました」。



法人の統括施設長を務める**鯉谷雅至さん**。 世界1周の旅をしたことがあり、訪れた国は 約40カ国。今は感染予防で遠出できないの で、お子さんと近場で探検しているそうです。



ライフェル駒川の山本さんが出してくれたのは、社会人バドミントン大会に出場した時の一枚。「大学を卒業して数年の頃です。試合で疲れ切って、家に帰る前の服装(ヨレヨレTシャツ)で撮ったものだと思います」と話してくれました。



バドミントン大会に 出場した際の山本さん

(1)

【 答えてくれた人 】 -----

ライフェル駒川で管理者を務める山本勝洋さん。学生時代からバドミントンに打ち込まれ、社会人になってからも選手として各地の大会に出場、活躍されていました。

寿幸苑永山さんは、大学の時に 留学した中国での一枚。「社会人 になってから大学に入り、縁あって 中国へ。朝日新聞やHONDAの 企業留学生、各国から多世代の 留学生もいて新鮮でした。写真は 友人とコーヒーブレイクの様子」。



29才の頃、留学中の 永山さん(右から2人目)



【 答えてくれた人 】 -----

寿幸苑で施設長を務める永山淳子さん。多 忙を極め、常に全力で何かに注力。穏やかな人柄ながら人生経験が豊富でミステリアスなため、「どこかの国のスパイ?」という噂も。

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれた さまざまな活動を紹介します。

並木道で桜を満喫

日時:3月30日(火) 場所:サボテンの花近く

新型コロナウイルス感染防止のため、 外出しづらい日が続いていたグループ ホーム サボテンの花の入居者さん。緊 急事態宣言が明けているこの日は、久し ぶりの外出でお花見に。川沿いに咲く 桜の花を見て顔をほころばせていました。



一同白熱、バーチャル釣り大会

日時:4月18日(日) 場所:寿幸苑 年間通していろいろな催しを企画する 介護士の久津名さん。この日は水中を 泳ぐ魚の姿がテレビ画面に映し出され、 BGM に合わせて入居者さんが持つ釣 り竿にヒット。攻防戦の末さまざまな魚 を釣り上げ、一同盛り上がりました。



包んで焼いて、餃子パーティー

日時:4月23日(金) 場所:寿幸苑

前職はホテルの中華レストランで料理 人を務めていた介護士の井貫さん主導 のもと、3階にて餃子パーティーを開 催しました。入居者さんが手袋を付け、 餃子の皮でタネを包む時間もあり、美 味しく楽しいお昼ごはんになりました。



特製にぎり寿司を昼食に

日時:5月27日(木) 場所:ライフェル駒川

館長の山本さんが厨房の方に提案さ れ、特製にぎり寿司が昼食に登場。 コロナ禍で外食に行きづらい入居者さ んのために考えた、特別な計らい。エ ビやサーモン、まぐろなど種類もいろい ろあり、大好評な取り組みになりました。



Hellol NFW STAFF



景山 雄登さん



事務 加世田 瑞希さん



大西 三四郎さん



吉田 りえさん



柳井 愛海さん



ケアワーカー 松井 未来さん



松嶋 誠也さん



管理栄養十 床井千早さん

SNS も更新中!

浪速松楓会のいろいろな情報を、 ゆる-く発信中!社内報では伝えきれ ない日常の様子や取り組みを紹介 しています。気軽にのぞいて、気が 向いたらイイネしてください♪









AND MORE! ケアマネジャー:前原 正子さん (居宅)、ナース:佐伯 智恵美さん (小規模)、介護士:岩谷 薫さん (GH) ※4月~5月末 入職分

殿谷さんの

ひとりご

No.011

最高のケア

4月18日、寿幸苑で長年お世話になっていた僕の祖父が 他界しました。軽い脱水での入院から肺炎になり一気に 看取りの状態に。職員からの提案もあり酸素10ℓの状態 でも病院から施設に戻ってくることが出来ました。その日か ら4日間、このコロナの状況にも関わらず多くの親族が訪 問する許可を頂き、昼夜問わず泊り込みで、顔を拭いて あげたり体をさすってあげたり、親族一同本当にかけがえ のない時間を過ごすことができました。最期の瞬間、僕た ちが本人の耳元で「ありがとうー!」って叫ぶと、本人の目 から涙が流れ、喉がかすかに動きました。本当に、最高の 看取りでした。何より職員みんなのケアに改めて感動しま した。本当にみんな懸命に僕らの看取りを支えてくれました。 一般的には、家族は本人に対して必ずしも良い感情ばかり ではなく、複雑な感情を持っていることも多い。それでも本 人や家族がどんな看取りを迎えられるかは本当に大切で す。今回の件で、改めてみんなの素晴らしさを感じたとと もに、僕らの仕事の大切さや意義を実感できました。皆さん、 本当にありがとうございました。最高のケアでした。

浪速松楓会 社内報 るるる vol.11 発行日:2021年6月1日 発行元:社会福祉法人浪速松楓会 制作担当者:倉窪